令和8年度　2年　技術科指導計画・評価計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	各単元における観点評価規準		
					知識・技能	思考・判断・ 表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	4 5 6	【D情報に関する技術】 コンピュータ機器について	3 1	Excelの操作方法 ドット絵の制作 まとめ	Excelの操作ボタンの名称や操作方法を理解し、扱うことのできる知識を身につけている。Excelを使用して、表計算ができる。罫線を描くことができる。図の加工などの編集作業ができる。	操作方法を理解した上で、効率の良い制作手順を考えることができる。 自分の制作したい画像を検索し、工夫したデザインで創造できる。ドット絵の作成のための作業手順が分かる。	Excelに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 ドット絵制作を意欲的に取り組んでいる。 自ら課題を設定し、目標達成に向けて主体的に取り組むことができる。
	7	【Bエネルギー変換に関する技術】 わたしたちの生活とｴﾈﾙｷﾞｰ	1 1 1 1 1	エネルギーの利用 エネルギー資源 二次エネルギー 電気エネルギー 動力伝達について 運動を変化させる仕組み	社会で利用されている機器等におけるエネルギー変換の制御・利用についての知識を身につけている。エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。エネルギー変換方法や動力伝達の仕組み・構造を理解し、日常生活の知識として役立てることができる。	エネルギーについて考え、よりよいエネルギー変換に関する技術の課題を挙げることができる。 エネルギーを多角的な面から捉え、今後のエネルギーについての改善策を考えることができる。	身近な生活に役立てるため、エネルギーに関心をもち、意欲的に取り組んでいる。エネルギー変換について、興味関心をもって取り組んでいる。
2学期	8 9 10 11 12	【Bエネルギー変換に関する技術】 エネルギー変換の実際 bluetoothスピーカ作成	1 1 2 2 2 2 3 2	電気回路 機械部品 ◆電気機器製作 設計・デザイン 電子部品の取り付け はんだづけ 動作確認 基盤と材料の組み立て 仕上げ	エネルギー変換の制御、利用についての知識を身につけている。エネルギー変換に関する技術が社会や環境に与えている役割と影響について理解している。電子部品や道具を理解し、適切な取り扱いができる。安全面に配慮し、保守点検と事故防止ができる。電気機器をきちんと作製することができる。今後の未来のエネルギーについて課題を見つけ、新たな発想を持つことができる。	電気機器の使用目的や使用条件を明確にし、どのような場面で役立てられているか考えることができる。 電気機器を製作する上で安全面に配慮し、効率よく作業を進めるための工夫を考えることができる。 製作を通して、良かった点悪かった点を自ら発見できる。	身近な電気機器に興味関心をもち、回路について考えることができる。 電気機器の製作に意欲的に取り組んでいる。 授業プリントをしっかり取り組んでいる。 作品を最後まで丁寧に仕上げている。
		【C生物育成に関する技術】 作物の栽培 実習 栽培キット	1 1 1 1 1	生物育成とは 作物などの特性と育成技術 栽培に適した環境 土壌の性質と施肥 たねまき、間引き、定植	生物育成とは何か理解し、適切栽培方法の知識を身につけている。育成する生物の肥料や飼料の供給方法や管理作業、用具や説部などの知識を身につけている。計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。生物育成における用具の名称を覚え、適切に作業することができる。	生活における生物や作物の大切さを考え、より工夫した取り扱いを考えることができる。 環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培方法を考えることができる。	生物育成に興味関心をもち、意欲的に作業に取り組んでいる。 観察記録をきちんと取っている。 定期的な水やりをきちんとしている。
3学期	1 2 3	【D情報に関する技術】 情報モラル メディアについて ディジタル作品について	1 1 3 1	利用・発信する時のモラル メディアとは ディジタル作品の制作 Excelを利用した広告 まとめ	情報に関するモラルを理解し、正しい知識を身につけている。X Excelの操作方法を理解し、資料作成するための知識を身につけている。 情報を扱う際、どのような状況になるか事前によく考え、適切な判断力と想像力を身につけることができる。	情報モラルにおいて、自分と他者の両方の立場になって考えることができる。 資料作成の際、デザイン性と創造力を働かせ、見る人に伝わりやすいような工夫をしている。 メディアの長所と短所を考えることができる。 メディアを扱う上で、テーマに合わせた工夫ができる。	情報モラルについて興味関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 アプリケーションソフトウェアの利用時に、意欲的に取り組んでいる。 資料収集など、自ら進んで積極的に取り組むことができる。

令和8年度　2年　技術科指導計画・評価計画

配当時数（合計）	35	評価方法	期末考査（知識の観点） 期末考査（技能の観点） アプリケーションソフトの操作技術 電気機器作品 PC技能、小テストなど	期末考査（思考判断の観点） 作品製作への工夫、道具・機械の使い分け 作業工程における作業手順の工夫 単元における振り返り・課題・工夫点 授業ノート	授業プリント、授業ノート 技術・家庭ノート（ワーク） 作品製作への態度 忘れ物 授業に取り組む態度（授業観察等）